

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成24年度 第10回理事会 議事録

日時：平成24年12月12日(水) 13:00～15:10

場所：JBAオフィス 8F会議室

出席：＜理事＞

深津泰彦、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐古賢一、品田奥義、庄司義明、鈴木秀太、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、水谷豊、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

片山正明、西井歳晴の各特任委員

欠席：麻生太郎会長、佐々木三男理事、内山英司、小倉恭志、上島正光、林直樹の各特任委員

議題

- (1) 平成24年度功労表彰について
- (2) 後援名義の使用許可基準について
- (3) 大会要項について
- (4) 日本体育協会次期役員の推薦について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(24名)の過半数の出席数(出席:22名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

麻生会長が公務により欠席のため、深津副会長より開会の挨拶があった。

3. 議事

麻生会長が欠席のため、定款に基づき、議長は深津副会長が務めた。

(1) 平成24年度功労表彰について (堀井理事)

平成24年度の功労表彰について、加盟団体および連盟より推薦のあった11名全員を表彰することが承認された。

＜承認＞

(2) 後援名義の使用許可基準について（堀井理事）

後援名義の使用許可について、基準を新たに制定し、専務理事の裁定によって許可することが提案された。これについて協議の結果、過去に後援名義の使用を許可したものを除き、新規の大会等については、理事会にて審議することにより一部修正の上、承認された。

<承認>

(3) 大会要項について（庄司理事）

第68回国民体育大会（東京国体）の大会要項について、日本体育協会からの指摘を受けて一部修正（文言の削除）が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(4) 日本体育協会次期役員の推薦について（堀井理事）

日本体育協会の次期役員（平成25年6月～予定）について、樋口隆之専務理事を推薦することが提案され、承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告（堀井理事）

2012年11月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（堀井理事）

次回第11回理事会は1月23日（水）に開催すること、今年度のチーム加盟・競技者登録状況において競技者登録数が減少傾向にあること、およびブロック連絡会の総括が報告された。

尚、登録課題についての意見交換があり、協会の根幹となるものであり、都道府県協会や連盟と協力し、それぞれの数値目標を持つなどより具体的な対応が必要であることが確認された。

(3) 事業戦略部（吉田（長）理事）

協賛活動の進捗状況、バスケキッズフェスティバルの実施状況（愛知、東京、宮城で開催し、ウインターカップや天皇杯・皇后杯の期間中に大会会場でも実施）、また、11月19日にFIBAの3×3責任者が来日し、日本国内での推進が期待されていること等が報告された。

(4) 新リーグ運営本部（丸尾副会長）

パナソニックの件については、年内に方向性が固まる予定であり、決定した段階で報告を行うことが説明された。

(5) 競技会委員会（庄司理事）

平成25年度の競技日程について、Wリーグの日程変更、FIBA ASIA主催大会日程の決定等が報告された。Wリーグの日程については、FIBA ASIA女子選手権大会（10/27～11/3）の開催日程の決定によって当初の日程を変更することになったが、大幅にずれることによる都道府県や地域での対応について懸念

する意見があり、会場手配など都道府県や地域にできるだけ負担をかけないような対応が求められた。WJBLとしては、難しい面があるが平日開催なども含め臨機応変に対応したい旨、説明があった。

その他、大会要項の一部変更、大会組合せ、大会結果、ウインターカップおよび天皇杯・皇后杯の準備状況が報告された。

(6) **国体委員会**（野村理事）

少年種別のU-16化について、当初12月を目途に方針を決定する予定であったが、委員会の日程調整等の諸事情から若干遅れており今年度中には決定する方向で進めていること、ブロック代表出場枠の変更については、引き続き岩手国体からの導入の方向で愛媛県や福井県と協議を行っていること、また、岐阜国体において選手の参加資格違反があり、処分が検討されていることが報告された。

(7) **国内競技日程検討委員会**（吉田(長)理事）

これまで2回の委員会を開催し、国際大会日程、現状の国内の課題、問題点についての認識共有、協議を進めていることが報告された。また、FIBAから2017年のワールドカップ以降の予選システム、競技スケジュールについて方向性が示されており、スケジュール、予選システムとも大きく変わることから、それも想定した上で、検討を進めていることが報告された。

(8) **全国理事長会議**（堀井理事）

全国理事長会議について、1月13日に懇親会、1月14日に会議を開催する予定であることが報告された。

(9) **その他**

中国からの帰化選手の登録問題についての質問があり、その後の経過が説明された。尚、この件については樋口専務理事、登録担当の堀井総務部長、国際担当の水谷理事で対応することが再確認された。

以上